

■二輪車販売の実務と情報

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.119 1973

5

MAY.

人気の**ZIPPY**に80cc登場!

4段変速/ハンドクラッチ式も

New ModelヤマハスポーツRD125発売

盛況! '73**ヤマハフェスタ**



5月のヤマハ

さつき・五月は一年でもいちばんさわやかなとき。
一輪車需要もいまが最盛期です。

73 ヤマハフェスタ
カラーパネ10,000枚プレゼント
ユニークジッピーシャツプレゼント
と、春の需要期にお届けしている、一連のキャンペーンは、全国で好評のうちに着ちやくと進展しています。が、お店ではいかがでしょうか。

カラーパネプレゼントは、いよいよ五月十五日まで、ジッピーシャツプレゼントは五月三十一日までです。

いっぽう、トレール杯争奪モトクロス選手権シリーズは、YGSFまでの前半戦の大きなヤマ場にさしかかっています。

TCMSに、またツーリングにと活発にスポーツレジャーを楽しむ若者たち。拡販とともに、若いお客さまのリードもお忘れなく。

MAY

- 1 火
- 2 水
- 3 木
- 4 金
- 5 土
- 6 日
- 7 月
- 8 火
- 9 水
- 10 木
- 11 金
- 12 土
- 13 日
- 14 月
- 15 火
- 16 水
- 17 木
- 18 金
- 19 土
- 20 日
- 21 月
- 22 火
- 23 水
- 24 木
- 25 金
- 26 土
- 27 日
- 28 月
- 29 火
- 30 水
- 31 木

▶ 競技会	▶ 会場	▶ 主催	▶ 連絡先
TCMS関東C第1戦	未定	TCMS関東事務局	(03)572-2021
TCMS中国第2戦	トレールランド山陰	ヤマハ島根	(0852)21-0750

★「カラーパネ10,000枚プレゼント」5月15日まで

★「ユニークZippyシャツプレゼント」5月31日まで

TCMS東北第3戦 山形県大会	尾花沢トレールランド	ヤマハ発動機仙台支店	(0222)94-6121
TCMS関東A第1戦	市原サーキット	TCMS関東事務局	(03)572-2021
TCMS浜松第3戦	伊佐地特設コース	ヤマハ浜松	(0534)41-5611
TCMS岐阜第3戦	各務原特設コース	ヤマハ発動機岐阜営業所	(0582)72-2110
TCMS四国第3戦	高松トレールランド	ヤマハ発動機四国支店	(0878)31-1661

TCMS関東B第1戦	茨城県谷田部	TCMS関東事務局	(03)572-2021
TCMS三重第3戦	トレールランド津	第一自動車	(0593)31-7321
TCMS北陸第3戦	トレールランド金沢	ヤマハ北陸	(0762)65-7251
TCMS近畿第3戦	未定	ヤマハ発動機大阪支店	(06)538-7331
TCMS沖縄第3戦	那覇エアベース	沖縄ヤマハ	(0983)68-1519

TCMS北海道第1戦	テイネオリンピック	北海道ヤマハ	(011)641-2711
TCMS愛知第3戦	各務原特設コース	ヤマハ発動機岡崎営業所	(0564)21-7131

6月

- 3 日

TCMS関東A第2戦	馬入川河畔	TCMS関東事務局	(03)572-2021
TCMS四国第4戦	愛媛トレールランド	ヤマハ発動機四国支店	(0878)31-1661
TCMS九州第4戦 長崎県大会	未定	ヤマハ発動機九州支店	(092)41-3606

- ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新員2500番地 ☎(05383)211111(大代)
- 北海道ヤマハ
〒063 札幌市西区24軒1条7丁目35 ☎(011)(641)2711
- 仙台支店
〒983 仙台市日の出町3丁目8-36 ☎(0222)(94)6121-6
- 東京支店
〒104 東京都中央区銀座8丁目9-13銀座オリエントビル ☎(03)(572)2021
- 名古屋支店
〒462 名古屋市北区辻本通2丁目34 ☎(052)(913)2121
- 大阪支店
〒550 大阪市西区北堀江通4の27 ☎(06)(538)7331
- 四国支店
〒760 高松市松島町3丁目22の9 ☎(0878)(31)1661
- 九州支店
〒812 福岡市博多区博多駅中央街8丁目36博多ビル ☎(092)(41)3606
- 広島店
〒734 広島市東区東町3丁目16の8 ☎(0822)(82)4111

● 乗ってさわって大発見! 盛況の'73ヤマハフェスタ

春とヤマハと若者と——

絶好のオートバイ・シーズンを迎えて、いま各地で『73ヤマハフェスタ』が盛大にひらかれています。

今年のテーマは“乗って さわって 大発見!”——。4サイクル/2サイクルのスポーツ・シリーズ、トール・シリーズ、メイト/ビジネス・シリーズにモトクロスサーやロードレーサー、そして人気絶頂のジッピーなど、ヤマハならではの充実した商品群を一堂に展開し、『73ヤマハフェスタ』は今年も沢山のお客さまを迎えて盛況です。



★ジッピー、のカラーリングはブラウンとブルーの2種。2人乗り出来る80も間もなく発売です



★サーテ、どれにするか。色とりどりの商品を前に、楽しい話題がつづく



★「これがトルクインダクションの新しい125か」「そうです、新発売のRD125です」

ユニークバイクの「ジッピー」に乗れる試乗会を中心に、乗って、さわって、大発見の「73ヤマハファエスタ」は、規模の大小の差こそあれ、各地で沢山のお客さまをあつめて盛況のうちに回を重ねています。

ここ岡山会場はその一例。初夏を思わせるような上天気にも恵まれた四月七日、八日の土日にわたってひらかれた「73ヤマハファエスタ、岡山会場」には、一連の商品群の展示のほか、免許相談コーナー、安全運転コーナーを開設、また「ZIPPYカラーパネ10000枚プレゼント」のキャンペーンの意識化を図って、貸カメラも用意するなど、趣向をこらした会場設定で人気を呼び、若い男女のカップルや、お子さまづれの家族組で、楽しい憩いとショッピングの会場となり、二日間フル・スロットルの盛況ぶりでした。

ファッショナブルなユニークバイクとして売れゆき急上昇の「ジッピー」は、とくに若い女性層の視線をあつめ、運転操作や取扱いについての矢つぎばやの質問に、係員は応接に大奮闘。また試乗コーナーでは順番を待つて列ができるほどの人気ぶりでした。

いっぽうスポーツ、トレール、レーサーの各シリーズはヤングの注目をあつめ、ジーツとたたずんで、喰入るようにつめていいる人もあれば、会場の興奮を家まで持ちかえろうと、ポスターやカタログを求め人、アンケートにペンを走らせる人など、「73ヤマハファエスタ岡山会場」は文字どおり盛況そのもののスタートでした。

乗って さわって 大発見!
 盛況の'73ヤマハフエス周



ご家族連れでお見えになったお客さま。
 「さっ、ボク、ジッピー、で行こう」



調子良好、ユニークごころを味わって快調に走る試乗風景。



こちらは^oオートマチックメイト。に乗
 るお母さま。まさにらくらく運転です



エイ、やっと乗っちゃった……お嬢さん



若者は、やっぱりMXに目がとまる



用意された貸カメラを借りてハイ、パチリ



乗って さわって 大発見!
盛況の'73 ヤマハフェア



*ジッピー、にするか——、*ミニ・トレ、にしようか——



アンケートにペンを走らせ……



カタログに目をとめる……



ウーム、やっぱりMXはいい



さんジッピーで行こう

和歌山で評判の“ジッピー・ガール”



「ジッピーで行こう」を合言葉に、文字どおり元気のよい(ジッピー)娘さんが、カラフルなユニークバイク「ジッピー」を駆って和歌山市内近郊で勢いのよいデモンストレーションをつづけて話題をまいています。



これは、ヤマハ和歌山自動車株式会社(和歌山市有本)が、「ジッピー」の発売を記念して販売店さんと協力、古市自転車店、乙井自転車店、中西自転車店の三フレンド店さんのせいせんで誕生した「ジッピー・ガール」のみなさんです。

右から(写真上)乙井玲子さん、竹内好子さん、戸田悦子さん、東淳子さんと、そろいのコスチュームで「ジッピー」を駆り、「ジッピー」のPRに、交通安全に一役かっています。その活躍ぶりを追って、地元のマスコミが取材にかけつたといえますから、その人気のほどがしれます。

最近「73ヤマハフエスタ」で、市内近郊はもとより、那賀、有田、伊都、海草など郡部の販売店さんを訪問、ますます人気を高めています。

一日の平均走行距離は約40キロ、最高は一日120キロも走ったこともあります。みんな快調まさに「ジッピー」です。

専用アクセサリーを装備した「ジッピー」は、高野山にも参詣、交通安全祈願をすませており、きょうも「ジッピー」と「安全」を呼びかけています。

ハイ！みな



素顔の、ジツピイ・ガール。みなさん本業は学生さん。
上左から乙井さん、東さん、戸田さん、竹内さん

テクニカルセンター 磐田

全国に先がけてオープン



正しく乗って安全運転！ これから免許をとろうという人はもとより、すでに免許をもっている人にも、大きく役立つ「テクニカルセ

ンター」の設立は交通安全普及にとどめるヤマハの積極的な姿勢を示すもの。その第1号がここにオープンした。

二輪車の「安全への正しい認識と運転技術の向上」を目的にかねてから各地に建設が計画されている「ヤマハ・テクニカルセンター」のトップを切って、「テクニカルセンター 磐田」が四月六日一時から、磐田市・警察関係者ら多くの参列者を迎えて開所式が行なわれました。

当日は開所式に合わせたような快晴に恵まれ、ヤマハ発動機株式会社小池久雄専務のテクニカルセンター設立の主旨と目的を挨拶とする開所式の辞に始まり、野崎基夫管理者の紹介に続き、磐田市、県警など主賓の祝辞の言葉をいただきました。なかでも、田中雄一県警本部長は祝辞のなかで、静岡県の交通事情を取りあげ、「最近のよううに交通事情のわるいなかで、このような交通安全を最大目的とする二輪車対象の充実した施設が企業によって県内に出来た事は、よろこばしいことです（要約）」とその完成にこれからの期待の言葉をのべられました。

テープカットの後は、ヤマハ特別指導員による模範走行と、基本テクニクの説明が行なわれ、オープン式典の最後を盛りあげて無事に終了しました。

テクニカルセンター 磐田は総面積約九五〇〇㎡のなかに、クランク・S字はもちろん、8の字・坂道・さまざま難路・制動テストコースなど一般道路で考えられるすべてのコースを持ち、一方四九〇㎡の建物には、五〇名収容の学科教室、六〇名収容の構造教室をはじめ、適性検査室・ロッカー室・監視塔・車庫を備え、走行訓練はもちろん、交通ルール、マナーなど安全指導や、個人・団体・学校単位での講習会など運転免許証の有無に関係なく、その後のセルフライディングに役立つように、万全の受け入れ体制を整えています。



▲ 警察庁鈴木免許課長とならんでオープンのテープをきるヤマハ発動機小池専務取締役。



テクニカルセンターの活躍を期待する…
▼とあいさつされた静岡県警田中本部長

▲ 静岡県警、取材記者団など、多数のお客
▼ さまを迎えての開所式と披露パーティ





▲ 参列者の前を模範走行するヤマハ安全運転特別指導員。うしろの建物が学科50名、構造60名が研修可能な学科教室。

◀ 常置されている検定車、RD250およびRD350で、前後に運転操作状況を示す各種のランプがついている特製車である

●テクニカルセンター磐田OPEN!!



▲コントロールタワーから見たコースの主要部。転回、坂路、一本橋、凹凸路等々の教習コースが巧みに組合わされている。



▲コースの安全を管理するコントロールタワー



凹凸路の状況を視察する静岡県警の方々と報道関係者



さらに50ccを含めて
4段ギヤ+ハンドクラッチ式も加わり
4車種が勢ぞろい



超ロングのシートにはベルトがつき、スイングアームにステップがついた「ジッピー80」。左のハンドルグリップ部にレバーがあるのは4段変速、マニュアルクラッチ付のもの。

ユニークなデザイン、ユニークな走りっぷりで人気上昇の「ジッピー」に、2人乗りが出来る80ccモデル・LB80—I・C、LB80—I・Hの2機種が加まりました。

両機種の相違は変速機構。LB80—I・Cは3段ギヤ+自動遠心クラッチで、その運転操作は先に発売されたLB50—I・Cや、メイトと同様に、左手からクラッチ操作をなくしたらくらく運転のもの。これに対して、LB80—I・Hは、ギヤを一段増して4段とし、クラッチはマニュアル式としたものです。いわばFX50やMR50と同様の運転方式です。

エンジンはともに6・2馬力の72cc2サイクル・リードバルブ式のもので、最高速度は80km/hをマークする性能をもっています。

クラッチ操作をオートとするか、マニュアルにするかは、お客さまのお好み次第、とはいうものの、やはりそこは商品のネライをよく心得て、お客さまの使用目的、使用条件などを考慮して、適切な助言を与えられる用意が必要です。自動クラッチの特長は変速のスムーズさ、運転の容易さにあり、いっぽうハンドクラッチ式は、能動的に運転を楽しむ魅力が最大の特長といえるものです。とくにラフ・ロードではそのメリットは大です。

このハンドクラッチ式は、新たに50cc車の「ジッピー」にも追加され、これで「ジッピー」は50cc、80ccに、3段ギヤ+自動クラッチ式と、4段ギヤ+ハンドクラッチ式の計四車種のバリエーションをもち、ますます売りやすさを増しました。

ヤマハ・ジッピー80-I・C
主要諸元 (カッコ内は80 I・H)

全長	1560mm
全巾	655(685)mm
全高	985mm
シート高	695mm
軸間距離	1050mm
最低地上高	140mm
重量	75(74)kg

最高速度	80km/h
舗装平坦路燃費	70km/l / 50km/h
登坂能力	20°
最小回転半径	1500mm
制動停止距離	8m / 35km/h
エンジン	2サイクル・リードバルブ
排気量	72cc(47×42mm)
圧縮比	6.8:1
最高出力	6.2PS/7000rpm
最大トルク	0.7kg-m/5000rpm
始動方式	ワンタッチキック
燃料タンク容量	3ℓ

オイルタンク容量	1ℓ [警告灯付]
バッテリー	6V 4AH
クラッチ操作	自動(手動)
変速機段数	3速(4速)
タイヤ寸法(前)	2.50-14・4PR
“(後)”	5.00-8・4PR
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
“(後)”	スイングアームオレオ
フレーム型式	プレスバックボーン式
ヘッドランプ	6V 15/15W
テール兼ストップランプ	6V 3/10W
フラッシャーランプ	6V 8W

2人乗りOK ZIPPY 80が登場!!



カラフル・ジッピー 80ccのカラーリングはジェネバグリーンとアンバーブラウンキャンディの2種。左上がブラウン色のLB80-I・Cで右上はグリーン色のLB80-I・H。



50ccのジッピーは、従来と同様にアンバーブラウンキャンディとエールブルーの2種。下はこの2色のLB50-I・H(ハンドクラッチ式)。





快走！ニューマシン初陣を飾る

COLOR Hi-lite 完勝! ヤマハ

「ヤマハどどうの勝利……」これは'73全日本選手権シリーズ第1戦谷田部（関東）モトクロス大会セニアクラスのレース結果を報じたある専門誌の表題。250cc鈴木秀明、125cc鈴木都良夫をあたまたに、ヤマハは両レースとも4位までを独占、まさにどどうの勝利をおさめた。日本のモトクロス界を代表するチャンピオン兄弟、ゼッケン②秀明、①都良夫のみごとな走りっぷりは、シリーズ開幕に最大の話題を提供してモトクロスの人気を高めた。



勝利への力強いスタート

YAMAHA SPORTS RD125



カタリナブルー

新発売



マンダリンオレンジ

新発売

主要諸元

全長.....1935mm
 全巾.....840mm
 全高.....1060mm
 シート高.....770mm
 軸間距離.....1240mm
 最低地上高.....155mm
 車輻重量.....106kg
 最高速度.....130km/h
 舗装平坦路燃費.....50km/ℓ(50km/h)
 登坂能力.....22.5°
 最小回転半径.....2100mm
 制動停止距離.....14m(50km/h)
 エンジン.....2 サイクル
 前傾並列 2 気筒
 トルクインダクション
 排気量.....124cc(43×43mm)
 圧縮比.....6.8 : 1

最高出力.....16PS/9500rpm
 最大トルク.....1.3kg-m/8500rpm
 始動方式.....プライマリーキック
 点火方式.....バッテリー
 燃料タンク容量.....11.5ℓ
 オイル.....1.5ℓ
 潤滑方式.....オートループ
 バッテリー容量.....12V 5.5AH
 発電機種類.....交流発電機
 点火プラグ型式.....(NGK)B-7HS
 キャブレター型式.....Y18P
 エアクリーナー.....湿式モルトブレーン
 一次減速(比).....ギヤ74/19(3.894)
 二次減速(比).....チェーン38/14(2.714)
 クラッチ.....湿式多板
 変速機.....常時噛合式 5 速
 変速比 1 速.....(34/12)2.833

変速比 2 速.....(29/17)1.705
 " 3 速.....(25/20)1.250
 " 4 速.....(23/22)1.045
 " 5 速.....(22/24)0.916
 キャスター.....62° 30'
 トレール.....95mm
 タイヤ寸法(前).....2.75-18・4PR
 (後).....3.00-18・4PR
 懸架緩衝装置(前).....テレスコピックオレオ
 (後).....スイングアームオレオ
 ブレーキ(前).....油圧式ディスク
 (後).....機械式ドラム
 フレーム型式.....鋼管ダイヤモンド
 ヘッドランプ.....12V35/35W
 テール兼ストップ.....12V8/23W
 フラッシュランプ.....12V8W
 パイロットランプ.....12V3W

走りにかけてはヒケをとらない



油圧ディスクブレーキの採用をはじめ、エンジン、車体とも充実さを増して、一段と乗りやすい、走りやすいヤマハスポーツ RD 125。

★ 最上級の 125cc級スポーツ

新発売『ヤマハスポーツRD 125』は、限定二輪いわゆる小型二輪免許で乗れる最上級スポーツとして開発されたもので、その身上はこのクラスでもっとも俊敏な性能を、もっとも手軽にひきだせるものとして設計されていることにあります。

★

さらにつけ加えていうならば、従来のAX 125を基本とし、プラスちから強さ、プラス乗りやすさ、プラス安全性を大きくもりこんだ商品であるといえるものです。いまさら説明するまでもなく、AX 125は、オプションパーツとして用意されているGYT キットパーツの装着により、もっとも水準の高いロードレーサーとして仕上げられる基本構成をもたせたものであり、事実、ロードレース界におけるAX 125のすぐれた活躍は、多くのライダーが認めていることでもあります。

このあたりからも、新発売『ヤマハ

★ 一段と 強化されたパワー

スポーツRD 125』の期待感は大きく、強力なセールスポイントをもつものといえます。

個々の特徴をここに列記してみますと、まずエンジンでは、トルクインダクション・システムを採用、中低速時のパワーバンドを巾広くひきあげているほか、高速域での伸びをさらにアップさせ、9500毎分回転において16馬力というこのクラス最高のパワーをひきだしていることが特記されます。

またこのパワーアップにともない、5段変速機は一段とクロスレシオ化され、スピードのつながりのよい、乗りやすさ、使いやすさを実現していることも大きな特徴です。

★

いっぽう車体関係では、いっそう強化されたパワーユニットとのマッチングで、全面的なグレードアップが図られています。もっとも大きなセールスポイントは、前輪ブレーキに油圧作動

★ さらに 充実した装備

のディスクブレーキを標準採用としていることで、これはその操作レバーがアジャスト付であることと合わせて、安全性を高く向上させているものです。

またタイヤサイズは前後とも一段階太いものとし、フロントフォークのアウトチューブはアルミ合金製として、バネ下重量の軽量化を図り、同時にその作動性を向上させています。そのほかロングランを容易なものとする燃料タンクの大型化、フィットのよいシート表張り、吸気音減少のサブチャンバー、経済性の高い湿式エアクリーナー、消音効果にすぐれた大容量マフラー、視認性のつよい大型化のテールランプ等々、数多くの特徴をもつ商品として完成されています。

★

また全体のスタイルも、より充実さを増したものとし、このクラスのロードスポーツとしての決定版ともいえるものとなりました。

こんにちは
ヤマハ
です

各地のヤマハフレンドのみなさん、お元気ですか。「73ヤマハフレスタ」もスタートして、いよいよ本格的なオートバイ・シーズンがはじまりました。

ここ山陰・島根においても、日に日に商戦は活発化してきております。そして、さらに大きな飛躍をと、高品質・高性能ヤマハを合言葉に一致協力して商圏を拡大しています。そんな島根から二つのヤマハフレンド店さんのニュースをお届けします。

積極的なチーム、クラブづくりで

スポーツレジャー車を増販

●松江市乃木町
河野モーターズさん



ご主人、河野清さんの片腕として頑張っているご子息の博男さんとお店のレイアウトをあれこれ検討。

島根県の県庁所在都市松江は、南北に穴道しんじ湖と中海を見る風光明媚なところ。機械、造船、紡績など産業も活発ですが、オートバイにかぎってみると、やはり他地区と同様にスポーツレジャーの浸透で、実用車からスポーツ車、トレール車の急伸が目立ちます。

ここ松江市乃木町の河野モーターズさんでも、三年ほど前までは実用車が九割を占めていたのですが、最近では実用車にかわってスポーツ車、トレール車の売れ足が好調です。こうした傾向をすばやく読みとって、河野モーターズの経営者・河野清さんは、スポーツ車、レジャー車の販売促進に今後の発展をかけようと、大山で行なわれたトレール教室に若いお客さま方と共に一緒に参加してきました。昭和四十五年のことです。

そして、お店のお客さまを中心に、MMTエムエムティー 〓松江モトクロスチームを結成しました。はじめは、河野さんはモトクロスの荒々しさに危惧を感じていました。もし、大事なお客さんが怪我でもしたら……と心配だったのです。しかし、若いお客さまはやる気じゅう



マシンの調整、改良は、お店とお客さんが
一体となって一台一台が真剣につくられる。



SL活動の積極化で、お店にはいつも若
い人があつまって笑い声がたえない。



お店の一角に設けられたMMTの棚には輝かしい
勝利の記録をもの語るトロフィーや楯がいっぱい。

きつっている昨今です。

SL活動の積極策が効を奏しているのではな
いかと、シーズンを迎えてまたいっそうはり
となる有望な需要層にまず強力なPRが行届
いているのも、チームとクラブを両輪とした
ロス、大型スポーツ車といえは、河野モータ
ース」といわれているほどで、将来お客さま
と完全逆転し、お店の業績も急ピッチで伸
びてきています。

地元、松江の小、中学生の間では、モトク
用車とスポーツ車、トレール車の売上げ比率
が完全に逆転し、お店の業績も急ピッチで伸
びてきています。

こうした河野さんの努力が実り、最近実
心かけ、毎年行なわれる安全運転コンテスト
では、島根県を代表して全国大会に参加した
メンバーもあり、MMTと同様に活発な動き
を示しています。

またこのKTCは、日ごろから安全運転に
を中心に十数名が名をつらねていますが、さ
らに会員の増加を図っています。

このクラブのメンバーは、重量車ユーザー
CII河野ツーリングクラブをスタートさせて
います。

もつとも、モトクロスだけに商売をかけて
いたのでは商圏も自づと限定されてしまいま
す。そこで、河野さんはSL活動、とくにツ
ーリングクラブの結成にも力をそそぎ、KT
CII河野ツーリングクラブをスタートさせて
います。

そして、モトクロスを理解するにつれ、一
般公道での走行も模範的となり、河野さんは
モータースポーツの有意義な一面を知り、最
初の危惧をふきとばしたのでした。

どです。

ぶんです。

毎土曜日にお店にあつまり、キットパーツ
の取付けやチューニングアップに励み、日曜
日には近くのトレールランドでトレーニング
に汗を流す熱心さです。

そしてMFJの公認もとり、昨年のモトク
ロス大会ではメンバーが大活躍、山陰地方で
MMTといえは、オートバイ・ファンなら知
らない人がいないほど有名なチームに成長し
ました。なかでも、チームのエース・清水広
美君は、西日本モトクロス大会で優勝、中国
ブロックを代表してYGSFにも参加したほ

親・子・孫、三代のトリオ ヤマハを売って島根一

●平田市平田町
勝部自転車店さん



「毎度ありがとうございます……」 若さあふれる昭二さんご夫妻。

表題のとおり、勝部自転車店さんは、親・子・孫の三代でヤマハを売り、その販売成果は島根一というすばらしい業績をあげ、さらに商圏の拡大につとめています。

大主人 勝部信藏さん (73才)

現主人 勝部昭一さん (52才)

奥さま 信子さん

若主人 勝部昭二さん (26才)

奥さま ひろ江さん

以上が勝部自転車店さんのスタッフです。

18才で自転車の生産を手がける

現在の勝部自転車店をひらいたのは、大主人の信藏さんです。信藏さんは、地元の米問屋の名家に育ちましたが、いまから五十五年前、若冠十八才にして自分で自転車を設計、製造・販売にのりだしました。

これが勝部自転車店さんのスタートで、この自転車は、この地方が簸川郡であったことから、その地名にちなんで「ヒノカワ号」と名づけられ、現在もその名はこの地方の生産する自転車に受継がれていますが、以来五十五年にわたって、勝部自転車店さんは地元の人々と深いつながりをもって着実な歩みをつけてきているのです。

家族的な接待でお客さまに奉仕

この勝部自転車店さんに、オートバイの販売を組込んだ人は、ご子息の勝部昭一さんです。父・信藏さんの自転車販売に協力するかわら、オートバイの販売に積極的に取組んで、勝部自転車店さんの商圏は大きく広がりました。

《こんにちはヤマハです》



●みなさんそろって記念撮影。
向って右が大主人勝部信蔵さん。



●古いのれんをもとに、すばらしい人間関係で業績をのぼしてきた勝部自転車店さんの家族的な接待。

「お客さまの立場にたつて奉仕する」というのが信蔵さんのモットーですが、昭一さんもこのモットーを忠実に生かし、オートバイを買うなら、自転車で面倒みのよかった勝部さんへ——というお客さま相互の合言葉を生むようになったのです。

やがて、お店の経営が昭一さんの手にゆだねられるようになり、奥さまの信子さんも加わって、お客さまへの奉仕も一段とその質を増すようになり、それにつれて業績も年を追ってアップしました。

お店の長い歴史に加えて、信用第一に人情味あふれる商法は、着実に固定客を増やしていったのです。この地方の特色として、支払いは盆、暮れといった後払い方式がとられることが少なくありませんが、お客さまの信用を第一に、家族的な接待がお客さまの心をとらえ、代金回収もスムーズにすすめられ、トラブルを起すようなことはまずなかったといえます。これには奥さまの内助の功も大いに役立っています。

お店に見えられたお客さまにはいつもこやかに湯茶の接待をし、お客さまとお店の人というわけへだてのない、家族的な雰囲気をもりあげてお客さまの心をとらえたのです。

古いのれんにプラス 積極経営

そんな名コンビの勝部自転車店さんに、二年前から新しい戦力が加わりました。それまで東京のヤマハで修業をつんだ長男の昭二さんが、おじいさん、お父さんのお店を手伝うことになったのです。

オートバイの機械知識に詳しく、現代的な

経営感覚を身につけた昭二さんは、信蔵さん昭一さんがつちかかってきた素晴らしい人間関係を大切に継承しながら、新しい商圈の拡大にのりだしたのです。

まずまず先に取組んだのは「ヤマハ免許教室」の開催です。近くの市民会館やお店を会場に、二カ月に一度は開催するようにはたらかかけ、これまで80%以上という合格率でお客さまを増やしています。

もちろん昭二さん自から講師としてお客さまに親身な講習を行ない、実力発揮せずして不合格となったお客さまには、アフターフォローとして特別の教習を実施し、次の機会では必ず合格するように指導しています。

そんな勝部自転車店さんに、昨年十一月もう一人の魅力あふれたスタッフが加わりました。昭二さんのベターハーフ、ひろ江さんがその人です。

ひろ江さんの実家は勝部自転車店さんの長いお得意さんで、そのつき合いからひろ江さんの明るい性格が昭一さんの目にとまり、昭二さんとの交際がはじまったのです。

もうすっかりお店の人となったひろ江さんは、お店のお客さまの接待もそつなく、昭二さんのよき相談相手として、勝部自転車店さんをもりあげています。

こうして、勝部自転車店さんは、信蔵さんを筆頭に、昭一さんご夫妻、昭二さんご夫妻の親、子、孫の三代が一致協力して商圈の拡大につとめ、昨年はヤマハを売って島根一の業績をあげたのです。

そして、今年もさらに大きな飛躍を図って春のセールスに励んでいます。

『ヤマハ運転免許教室コンクール』を追って

あなたのお店のお店の免許教室は お客さまの心をとらえたか

東北

春の

メイト需要を

がっちり先取り

ことし一、二三月にかけて、東北六県のヤマハフレンド店では「ヤマハ原付免許教室」が精力的に展開されました。きよねんにくらべると開催回数は、ざっと三倍。これをフォローしたのが二輪車安全運転推進委員会の指導員による原付免許講習会と出張試験。雪どけの三月が東北の春季セールのスタートですが、それに先立って「安全運転の普及」としてかかり結びつけた企画が、ヤマハメイトの拡販にも確実に反映していました。

二月以降、ヤマハ安全運転推進本部・東北支部が推進した「原付免許講習会と出張試験」の開催状況は、つぎのとおりです。

二月七日 ▼ 山形県・上山市

十三日 ▼ 秋田県・大館市、宮城県・豊里町



▲山形県上山市で行なわれた「原付免許講習会」

◀初めてとった免許。びったりくるのはメイト。らくらくメイトをさらにらくらくにしたオートマチックメイトの登場は、とくに初心者には好評です。

宮城県・亶理町

十八日▼岩手県・大野町

十五日▼"・鶴住居町

二十三日▼宮城県・佐沼町

二十五日▼岩手県・綾里町

三月八日▼宮城県・仙台高校

九日▼"・岩沼市

十四日▼"・佐沼町

十九日▼福島県・白河市

四月二十六日▼宮城県・岩沼市

毎回四十〜五十人程度のお客さ

んが受講しましたが、これらはみ

んな「ヤマハ原付免許教室」の卒

業生です。"学科講習↓模擬テス

ト"を反復させる綿密な教習シス

テムで、全国的にも低い東北の原

付合格率も、この講習会では四十

〜五十%とかなり好成績をおさめました。

"出張試験"への案内は、やはり

「ヤマハ原付免許教室」にとつて

大きな動員力のキャッチフレーズ

でした。今回の開催地点は、いず

れも郡部の農村市場で、三十代の

農家の主婦の方が過半数を占めて

いますが、食料品店や食堂の経営

主など、中年男性の顔の目立つ会

場もありました。

"いそがしいから..." "一人では

おっくうだし..." と言う層に、出

張試験までのパッケージ方式が魅

力になります。

「ヤマハ原付免許教室」開催のも

う一つのポイントは、実技指導に

あります。

「どの教室でも模擬テストの採点

時間を利用して、販売店さんがク

ルマの取りまわしや基本的な乗り

方指導を行いました。販売促進

の点では、これが最も効果があり

ます。とくにご婦人たちは、自分

が乗り方を覚えた車種に、いちば

ん親しみをもち、信頼感をよせる

ものです。免許合格者の八割が実

売に結びついたという成績の販売

店もいくつか出ています」

(ヤマハ仙台支店の話)





お客さんの希望もあって、合格者のみなさんが集って記念撮影。手にしているのは合

格記念品のヤマハ“ライディング読本”。中列左はしの方が笹森さんです。



にぎやかな笹森モーターさんのお店。円内が経営者の笹森松三さん。

毎日、納車に追われていそがしい笹森さんは「自分でも予想以上の成績におどろいています。やはり町の人たちに密着した商売をやらなれないけません。農繁期が過ぎた七月ごろに第四回目の教室をひらきます」と頬をほころばせていました。

目下、店員さんを持たず孤軍奮闘する笹森さんに、安全運転普及の観点から免許教室開催を応援してくれたのは、交通安全協会支部長の長内英五郎さんや駐在の野藤光雄さんたち。二人は、交通法令の講師も引き受けてくれました。安全協会や「母の会」を通じてのチラシ配布や口コミPRで、第二回目の二月は百二十八人の受講生が集るという大反響でした。一月から四月まで毎月一回「ヤマハ原付免許教室」をひらき、受講者は合計二百三十名にも達しています。

一回の「ヤマハ原付免許教室」で百二十六人のお客さんが集まり、そのうち八十四人が合格するという快成績をあげた教室を紹介しましょう。青森県北津軽郡鶴田町。津軽富士、岩木山を南に望む、岩木川のほとりの静かな町です。笹森モーターの笹森松三さん(30歳)は、今年の拡販計画で「ヤマハ原付免許教室」を重点施策とし、一月から開始しました。積雪の深い北国、出稼ぎ者の多い過疎化傾向の町であるだけに、こんご売上増進をはかるためには、人一倍強力な市場開発をおこなわなければなりません。

原付免許教室で ことしも出足快調!

青森県北津軽郡鶴田町・笹森モーターさん

もりあげよう ZIPPY キャンペーン

YAMAHA ZIPPY

ユニークジッピーシャツ プレゼント

ボクのハンガーも
ついでなのだ。



ジッピー80も新発売!!
買うともらえる
買わなきゃモラエナイ。
当然—買う、ネ!

いまジッピー50/80を買うと、もれなく特製ユニーク
ジッピーシャツをプレゼント。NOWなデザイン、フィーリング
もバッチリ。ユニークなキミにピッタリのシャツだ。

期間は4月1日～5月31日までです。

ぜひ、もらわなくちゃあ……!

プレイボーイ後援

YAMAHA



ZIPPY

カラーパネル プレゼント

10000枚

ごきげんなジッピーを、カラーで写そう。抽選で、大型カラーパネルを
10,000枚プレゼント。ユニークを競うグランプリ・コンテストもある
ダブルチャンスもあるのだ。

〈ユニークさ〉は、きみのとり方次第。オクレズに、応募しよう!
ジッピー50/80新発売記念の〈フェスタ〉もやるのだ。撮影・試乗も
バッチリできるぞ。

〈カラーパネルプレゼント〉10,000名 発表は発送をもってかえます。
抽選で、きみのユニーク写真を、255×335mm・ドライマウント
フレーム付カラーパネルにしてプレゼント。(時価¥2,000)

〈グランプリコンテスト〉 6月27日発売 週刊プレイボーイ誌上にて発表。

グランプリ…………… 1名 グランプリトロフィー
B全パネル
ヤマハステレオ CS50

ジッピー賞…………… 10名 トロフィー
B2パネル
ヤマハギター

ユニーク賞…………… 40名 ヤマハユニークジッピーシャツ
全紙パネル(420×530mm)

〈応募規定〉●未発表の自作品(カラー)●ネガと手札以上のプリント
●プリントの裏面に、住所・氏名を記入。●1人何点でも応募可。ただし
1通につき1点のこと。●ヤマハフレンド店にある応募用紙に必要事項記入
の上ネガ、プリントを、同封してください。●応募のネガ、プリントは返却
しません。●くわしくは、ヤマハフレンド店でおたずねください。

×切り 5月15日(当日消印有効)

宛先 〒104-91 東京都京橋局 私書箱93号
ヤマハジッピーカラーパネル係

ブラジルに女性チャンピオン誕生

このニュースは先般社用でブラジルを訪れたヤマハ発動機株式会社杉山友男取締役がもたらしたものだ。サンパウロセントウロ杯争奪ロードレースに、アンナマリーヤという女性ライダーがヤマハA S 3で出場、十一台の男子の乗るマシンをふりちぎって堂々の優勝を果たしたという快ニュースです。

この女性はイタリア人とポーランド人の混血で、色あざ黒く、目鼻だちの整った美人。

彼女の父はオートバイ・ライダーで、何年前にこのレースのサーキットで事故のため亡くなられたとか。彼女にしてみれば、この優勝は亡き父への最大の供養となったものである。ヤマハに乗りたくて、ヤマハモーター・ド・ブラジルに日参、その熱意にまけてレースの前日に出場を許可、初めてこのコースを走っての優勝で、地元では大きな話題となりました。

▼ミス・チャンピオンライダーのアンナマリーヤを真中に、向って右が杉山友男取締役。



▲バドックで調子をととのえるアンナマリーヤ選手。

活発なセールス活動

ガテマラ



日本では余りなじみのないこのガテマラでも、ヤマハの代理店をはじめヤマハ関係者は非常に活発なセールス活動を行なっています。写真上は昨年の秋に行われたモトクロス国内選手権試合でヤマハ・チームが優勝した時のものです。中央がチームのキャプテンで、右がチャンピオンです。

ミニ・トレールに乗った体重200kgもありそうなジャンボ・サンタクロース(写真下)。これは、昨年のクリスマスの際に当地の代理店カネラ社が行ったセールス活動の一コマです。ミニ・トレールに乗ったり、プレゼントをもらったりで、子供達は大喜びでした。

鈴木都良夫 ヨーロッパ初挑戦を飾る!

四月八日、今年から新たに開始された「FMブライズー25ccモトクロス」のシリーズ第一戦ベルギー大会で、日本から単騎出場の鈴木都良夫選手は、四〇分十二週の2ヒートを断然たる速さで征覇、本場ヨーロッパ・モトクロス初挑戦を飾った。

このシリーズ戦は、今後新設が予定されている125ccモトクロス世界選手権の前哨戦と目されるもので、A、B二グループに分かれ八戦にわたって争われ、九月に両グループの代表が一堂に会して決勝大会を行なうもの。都良夫選手は、Aグループで七戦に出場の予定だが、YZM125を駆って出場したこの第一戦が、ベルギーブラッセル郊外の豪雨と泥んこのコースであったものの、2位以下をまったく寄せつけず圧勝したことで、はやくもタイトルウイナーの最右翼と目されている。

なお、第2戦は五月九日チェコで行なわれる予定。さらに「ひとつでも多くのレースに出場したい」とはりきっているだけに今後の活躍が注目される。(写真はモーターサイクル紙より)



業務にレジャーにたくましい水の行動派

ヤマハ船外機

海苔やカキ、はまちなどの養殖や沿岸浅海漁業などの業務にタフに働き、またもつともポピュラーなスポーツレジャー「フィッシング」や「スイミング」の足として軽快に水辺を走りまわる——それがヤマハ船外機です。

その高性能は「つよい、軽い、錆びない」の定評で、国内はもとよりひろく海外からも高い信頼を集めています。

このほど、さらに性能アップをはかって全機種モデルチェンジ。パワフルシリーズとしてますます磨きあげられています。

巾広い用途のヤマハ船外機は、豊富なラインアップとかずかずのオプションも用意されています。機構的にもオートバイと多くの共通点をもつもの商圏の拡大に、お店でもぜひどうぞ！

YAMAHA・9A

164cc 9PS
5000rpm 25kg



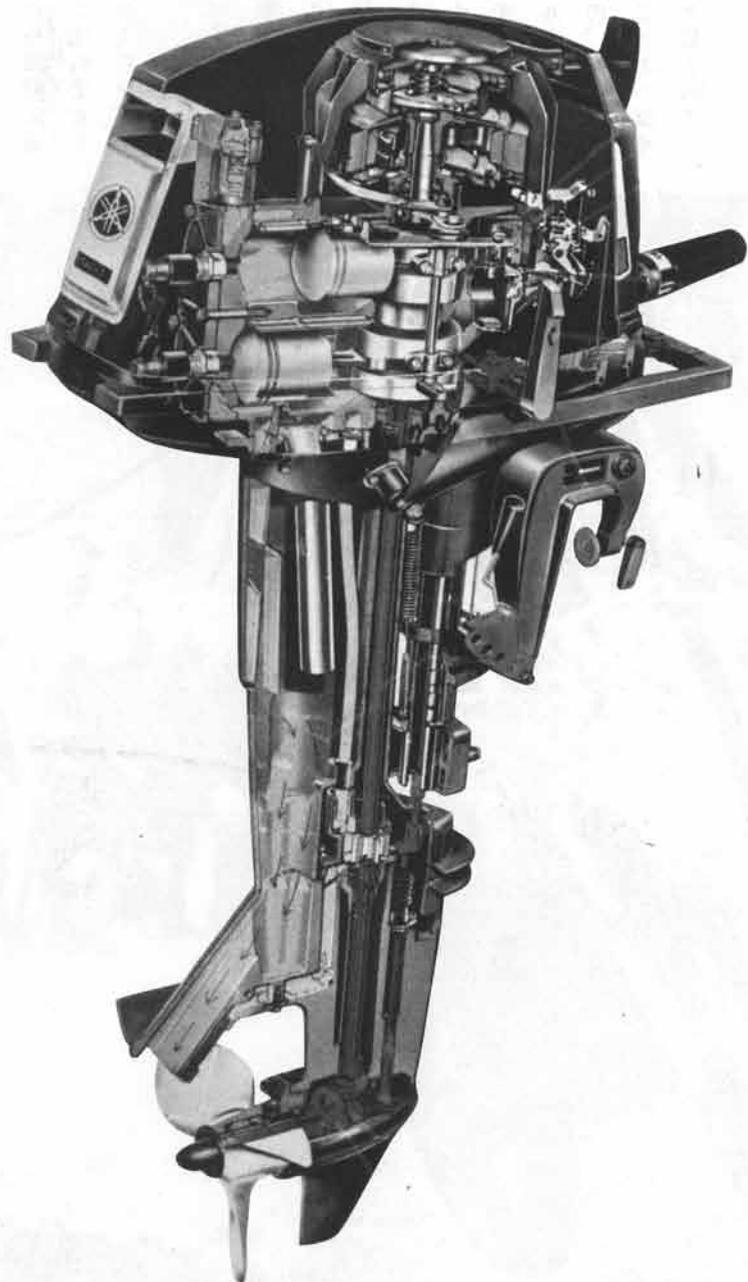
新発売

YAMAHA・25A

430cc 25PS
5200rpm 38kg



新発売



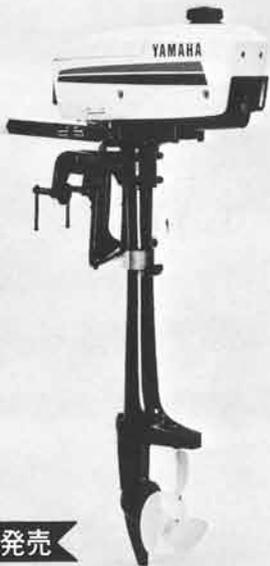


ヤマハ  **YAMAHA**

のたかな商品群

陸に、水に、雪に、楽しいスポーツレジャーを生み、精力的に働くヤマハ、YAMAHA——みなさまがおなじみの、あるいは初めてのヤマハをここにご紹介します。お客さまとの話しのネタとしてどうぞご利用ください。

YAMAHA・2A 43cc 2PS
4,500rpm 9kg



近日発売

YAMAHA・3.5A 63cc 3.5PS
5,500rpm 16kg



近日発売

YAMAHA・5B 92cc 5PS
5,000rpm 20kg



新発売

YAMAHA・12A 229cc 12PS
5,500rpm 36kg



YAMAHA・15A 246cc 15PS
5,500rpm 36kg



YAMAHA・20A 392cc 20PS
5,000rpm 38kg



近日発売



YAMAHA YZR 500

新しい技術のチカラ、'73世界GPに登場!

■'73世界選手権ロードレースは4月22日のフランスGPを第1戦として、9月22~23日のスペインGPまで12戦のスケジュールが組まれています。これは日本の金谷秀夫とフィ

ンランドのヤーノ・サーリネンが乗る500cc級の新鋭マシン『ヤマハYZR500』。常に新しい技術のチカラを求めてやまぬヤマハの自信作です。今後の活躍をご期待ください。

- エンジン：水冷4気筒前傾並列2サイクル・トルクインダクション●総排気量 493cc●点火方式：CDI●変速機：常時噛合式6段●クラッチ：乾式多板●ブレーキ：油圧ディスク・ダブル(前)●同シングル(後)●重量：175kg以下●最高出力：80P S / 10,000rpm以上●最高速度：240km/h以上